

令和 2 年度 駒ヶ根市地域公共交通協議会 事業報告

年 月 日	内 容
R2. 7. 9	第 1 回協議会（会場：駒ヶ根市役所 大会議室） <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度事業報告及び決算報告 ・ 駒ヶ根市地域公共交通網形成計画の設定目標に対する評価 ・ こまタク、割引タクシー券等利用実績の報告 ・ 運転免許証自主返納支援事業の実績報告 ・ 駒ヶ根市生活交通確保維持改善計画（案）
R2. 7. 18～ 8. 15	日常の移動と公共交通に関するアンケート調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 無作為抽出した 3,000 世帯を対象 ・ 内容は主に、移動実態、公共交通の利用の意識、公共交通維持への意識 ・ 1,093 世帯 2,230 名分の結果を回収
R2. 9. 25	書面協議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 2 年度下半期 デマンド交通運行業務委託業者（案）
R2. 10. 27	第 2 回協議会（会場：駒ヶ根市役所 大会議室） <ul style="list-style-type: none"> ・ 駒ヶ根市地域公共交通計画策定に係る、公共交通の方向性 ・ 駒ヶ根市の公共交通の現況 ・ 市民の移動実態とニーズ
R2. 12. 22	第 3 回協議会（会場：駒ヶ根市役所 大会議室） <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価（案） ・ 駒ヶ根市地域公共交通計画（素々案）について
R3. 2. 8	書面協議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 駒ヶ根市地域公共交通計画（素案）について
R3. 2. 20～ 3. 15	パブリックコメント <ul style="list-style-type: none"> ・ 駒ヶ根市地域公共交通計画（案）
R3. 3. 18	公共交通利用促進番組の制作（放映は R3. 4. 6 から 1 週間） <ul style="list-style-type: none"> ・ 駒ヶ根市における高齢者の運転の現状 ・ 高齢者の運転における昨今の事故の特徴 ・ 事故の原因と対策（運転者として、自動車側の設備での対応） ・ 免許返納のタイミング ・ 免許返納後も安心した生活を送るには
R3. 3. 22	第 4 回協議会（会場：駒ヶ根市役所 大会議室） <ul style="list-style-type: none"> ・ 駒ヶ根市地域公共交通計画の策定 ・ 令和 3 年度 駒ヶ根市地域公共交通協議事業計画（案） ・ 令和 3 年度 駒ヶ根市地域公共交通協議会予算（案） ・ 令和 3 年度上半期 デマンド交通運行業務委託業者（案）

令和 2 年度 駒ヶ根市地域公共交通協議会 決算書

(令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日)

1 歳入

(単位：円)

項目	当初予算額	補正予算額	合計 (A)	決算額 (B)	比較 (B-A)	内容
1 負担金	32,150,000	0	32,150,000	31,224,536	▲ 925,464	
1 市負担金	32,150,000	0	32,150,000	31,224,536	▲ 925,464	■駒ヶ根市負担金 31,224,536
2 繰越金	0	0	0	0	0	
1 繰越金	0	0	0	0	0	
3 預金利子	0	0	0	33	33	
1 預金利子	0	0	0	33	33	■預金利子 33
4 雑入	5,000,000	0	5,000,000	6,900,000	1,900,000	
1 雑入	5,000,000	0	5,000,000	6,900,000	1,900,000	■地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金 6,900,000
歳入合計	37,150,000	0	37,150,000	38,124,569	974,569	

2 歳出

(単位：円)

項目	当初予算額	補正予算額	合計 (A)	決算額 (B)	比較 (B-A)	内容
1 総務費	5,250,000	0	5,250,000	7,125,240	1,875,240	
1 会議費	230,000	0	230,000	213,800	▲ 16,200	■協議会委員報酬 213,800
2 事務費	5,020,000	0	5,020,000	6,911,440	1,891,440	■国庫補助金相当額支払 (駒ヶ根市) 6,900,000 ■振込手数料 11,440
2 事業費	31,900,000	0	31,900,000	30,999,329	▲ 900,671	
1 事業推進費	31,900,000	0	31,900,000	30,999,329	▲ 900,671	■デマンド交通運行委託費 (※) 23,038,418 ■デマンド交通受付業務補助金 4,061,999 ■デマンド交通専用車両管理費 398,912 ■地域公共交通網形成計画事業支援委託費 3,500,000
2 広報費	0	0	0	0	0	0
3 予備費	0	0	0	0	0	
1 予備費	0	0	0	0	0	
歳出合計	37,150,000	0	37,150,000	38,124,569	974,569	

※運行委託費 = 運行経費 - 運賃収入

3 収支

(単位：円)

区分	決算額	備考
歳入総額	38,124,569	
歳出総額	38,124,569	
歳入歳出差引額	0	

会計監査報告書

令和2年度駒ヶ根市地域公共交通協議会歳入歳出決算について、監査を実施し、関係書類を精査した結果、適正かつ正確に処理されていたことを報告します。

令和3年6月23日

駒ヶ根市地域公共交通協議会

監事 宮脇 三広 印

監事 北原 純 印

※両監査員には、報告書に押印・自署いただいておりますが、個人情報保護（印影）のため、原本の添付は差し控えております。

令和2年度 こまタク(こまがねデマンド型乗合タクシー)運行実績

(1)純利用実績

① 男女別 (人)

	R01	R02	割合
男	58	55	23%
女	220	189	77%
計	278	244	100%

※R1年度対比:▲34人

② 年齢別 (人)

	R01	R02	割合
～59歳	15	18	7%
60～69歳	7	11	5%
70～79歳	69	52	21%
80～89歳	158	133	55%
90歳～	29	30	12%
計	278	244	100%

※2021.1.1時点の年齢で算出

③ エリア別 (人)

エリア	R01	R02	割合
ア	59	39	16%
イ	27	25	10%
ウ	30	28	11%
エ	84	76	31%
オ	78	76	31%
計	278	244	100%

< まとめ >

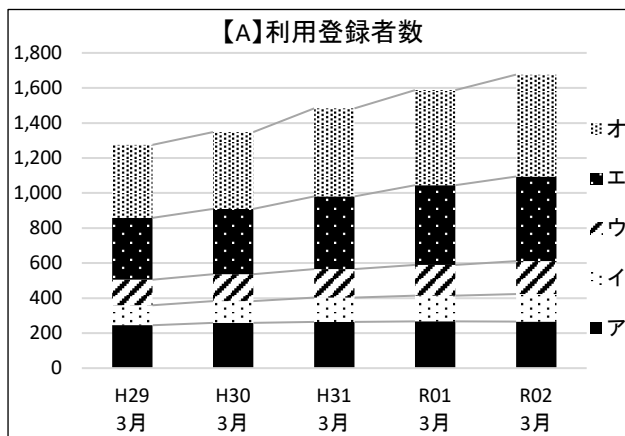
- ① ・女性の利用者が約80%
・割合:前年度からの女性の減りが目立つ
・純利用者数:対前年比▲34人
- ② ・70歳以上の利用者が約90%
・割合:前年度から大きな変化はなし
- ③ ・全体的に減少
・割合:前年度から大きな変化はなし

(2)利用実績

【A】利用登録者数 (人)

エリア	H29 3月	H30 3月	H31 3月	R01 3月	R02 3月
ア	245	258	264	267	266
イ	114	124	139	146	157
ウ	146	154	162	176	188
エ	353	374	415	455	483
オ	417	438	503	543	582
計	1,275	1,348	1,483	1,587	1,676

※R2年3月対比: +89人



【B】純利用者数 月平均 (人)

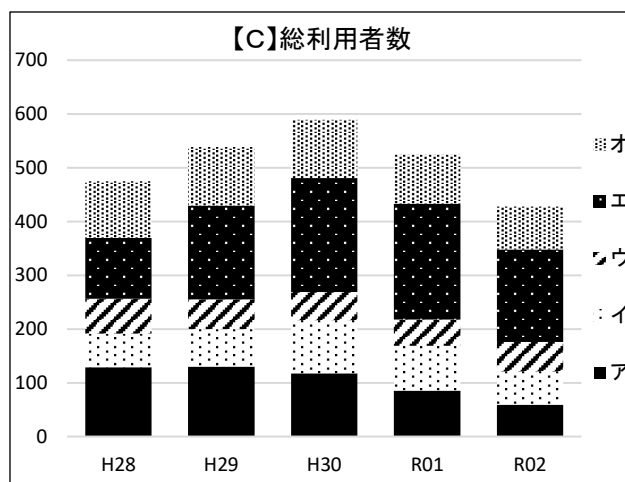
	H28	H29	H30	R01	R02
計	131	143	152	143	119

※R1年度対比:▲24人

【C】総利用者数 月平均 (人)

エリア	H28	H29	H30	R01	R02
ア	129	130	118	86	59
イ	62	70	99	83	62
ウ	65	55	52	49	55
エ	113	175	212	215	172
オ	106	109	109	92	80
計	475	539	589	524	428

※R1年度対比:▲96人



【D】1便当たり平均乗車人数

エリア	H28	H29	H30	R01	R02
ア					
イ	2.8	2.3	2.5	2.1	1.6
ウ					
エ	2.7	2.3	2.3	2.3	1.8
オ					
平均	2.8	2.3	2.4	2.2	1.7

※R1年度対比:▲0.5人

【E】各停留所の利用状況

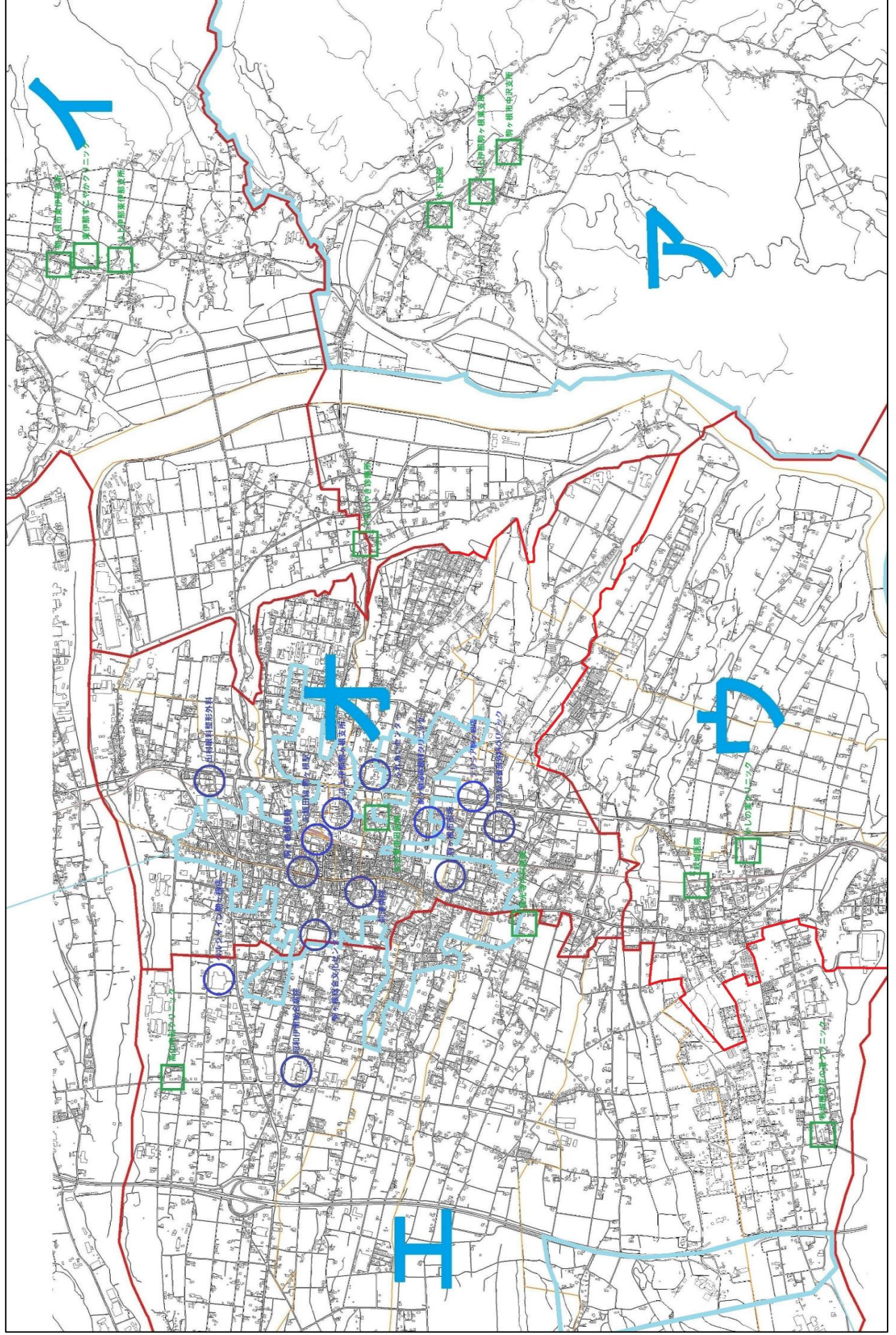
共通停留所	停留所名	利用者数
	昭和病院	922
	前澤病院	285
	山村眼科整形	1,515
	つちかね整形	196
	JR駒ヶ根駅	437
	郵便局	96
	市役所	86
	文化C	287
	ふれあいC	37
	JA駒ヶ根	342
	ベルシャイン	628
	デリシア駒ヶ根店	153
駒ヶ根泌尿器科CL	15	
エリア限定停留所	利用者数	
ア 木下医院	29	
アイ けやき診療所	0	
ア JA駒ヶ根東	3	
ア 中沢支所	5	
イ すこやかCL	10	
イ JA東伊那	12	
イ 東伊那支所	0	
ウエ 秋城医院	17	
ウエ かしの実CL	4	
エ 花の道CL	0	
エ 高山内科CL	36	
エ 座光寺内科CL	1	
オ 須田医院	21	

< まとめ >

- 【A】利用登録者数:1,600人を超え、新規登録者は122名(対前年比▲27人)
- 【B】純利用者数(月平均):対前年比▲24人
- 【C】総利用者数(月平均):対前年比▲96人
- 【D】1便当たりの平均乗車人数:対前年比▲0.5人
- 【E】共通停留所(TOP3):①山村眼科整形 ②昭和病院 ③ベルシャイン
エリア限定停留所(TOP3):①高山内科CL ②木下医院 ③須田医院

【こまたく】

- 運行 平日毎日運行(お盆・年末年始除く)、4便/日(往路1便 8:00、往路2便 10:00、復路1便 12:00、復路2便 14:00)の運行
- 停留所 予約により、往路は「自宅から停留所」、復路は「停留所から自宅」へ、乗合による送迎



令和2年度 運転免許証自主返納支援事業実績

(1) 事業目的

高齢者等による交通事故の減少を図るとともに、公共交通機関の利用を促進するため、運転免許証の自主返納の推進を支援するもの。(平成29年度事業開始)

(2) 事業概要

<対象者>

- ① 駒ヶ根市内に住民登録されている人
- ② 運転免許証の全てを自主返納した人

<支援内容>

こまタク乗車券 1万円分(400円/回×25回分)

(3) 支援状況

- ・支援者総数：343名(H29：92名、H30：76名、R01：102名、R02：73名)
- ・無料乗車券配布総数：8,575枚(うち、使用枚数：1,310枚、使用率：15%)

【A】男女別

性別	~H30	R01	R02	累計	割合
男性	84	46	35	165	48%
女性	84	56	38	178	52%
計	168	102	73	343	100%

【B】エリア別

地区エリア		~H30	R01	R02	累計	割合
ア	中沢区	24	10	5	39	11%
	下平区(第1・3・4・5・6・11・12)					
イ	東伊那区	15	10	8	33	10%
	下平区(第7・8・9・10・14)					
ウ	市場割区(宮の前・美里を除く)	13	5	5	23	7%
	上赤須区、中沢区吉瀬					
エ	福岡区、北割1区・2区	45	39	20	104	30%
	中割区、南割区					
オ	町1・2・3・4区、市場割区宮の前・美里	71	38	35	144	42%
	上穂町区、小町屋区、下平区第2・13					
計		168	102	73	343	100%

【C】年齢別

年齢層	~H30	R01	R02	累計	割合
~49歳	1	0	0	1	0%
50~59歳	0	0	0	0	0%
60~69歳	3	0	5	8	2%
70~79歳	45	27	17	89	26%
80~89歳	103	63	41	207	60%
90歳~	16	12	10	38	11%
計	168	102	73	343	100%

【D】返納後の利用状況

利用状況	~H30			R01			R02			累計		
	交付者	実利用	割合	交付者	実利用	割合	交付者	実利用	割合	交付者	実利用	割合
登録済・利用経験有	12	9	75%	6	5	83%	6	3	50%	24	17	71%
登録済・利用経験無	23	9	39%	13	4	31%	4	2	50%	40	15	38%
未登録	133	29	22%	83	14	17%	63	12	19%	279	55	20%
計	168	47	28%	102	23	23%	73	17	23%	343	87	25%

令和 2 年度 割引タクシー券 利用実績

(1) 制度概要

○交付対象者 65 歳以上で自動車による交通手段のない市民
「福祉タクシー券」の対象者

○交付枚数

居住地区	交付枚数※1	割引額※2
竜西	40 枚	100 円
竜東 1	80 枚	300 円
竜東 2	120 枚	350 円

※1 年度中途の交付枚数は月割計算

※2 タクシー料金 500 円につき
割り引く金額

(2) 利用者像

①男女別

	人	割合
男	220	24.6%
女	675	75.4%
計	895	100.0%

②年齢別

	人	割合
～39 歳	13	0.8%
40～49 歳	8	0.9%
50～59 歳	27	2.5%
60～69 歳	40	3.3%
70～79 歳	198	20.9%
80～89 歳	455	52.7%
90 歳～	154	18.9%
計	895	100.0%

※2021. 3. 31 時点の年齢

③地区別

	人(a)	割合	高齢人口(b)	(a/b)
南割	18	2.0%	291	6.2%
中割	31	3.5%	382	8.1%
北割 2	54	6.0%	544	9.9%
北割 1	75	8.4%	770	9.7%
小町屋	63	7.0%	647	9.7%
福岡	87	9.7%	1,070	8.4%
市場割	61	6.8%	524	11.6%
上赤須	38	4.3%	304	12.5%
下平	21	2.3%	485	4.3%
町 1	36	4.0%	345	10.4%
町 2	116	13.0%	1,088	10.7%
町 3	50	5.6%	464	10.8%
町 4	66	7.4%	576	11.5%
上穂町	58	6.5%	583	9.9%
中沢	80	8.9%	997	8.0%
東伊那	41	4.6%	651	6.3%
計	895	100.0%	9,721	9.2%

※2021. 3. 31 現在の高齢者人口

(外国人含む、施設入所者除く、市福祉課提供)

(3) 利用実態

【A】交付者数

	H30	R01	R02	前年比
竜西	1,196	1,221	1,286	105.3%
竜東 1	156	141	164	116.3%
竜東 2	77	68	73	107.4%
計	1,429	1,430	1,523	106.5%

【B】利用者数

	H30	R01	R02	前年比
竜西	834	838	774	92.4%
竜東 1	116	105	86	81.9%
竜東 2	50	45	35	77.8%
計	1,000	988	895	90.6%

【C】利用枚数

	H30	R01	R02	前年比
竜西	19,286	19,466	18,150	93.2%
竜東 1	5,441	5,008	4,026	80.4%
竜東 2	3,868	2,796	2,515	89.9%
計	28,595	27,270	24,691	90.5%

※【市負担額】 R01 : 4,427,200 円 ⇒ R02 : 3,903,050 円 (前年比▲524,150 円)

<まとめ>

【①②】利用者の 7 割以上が女性であり、70 歳以上の高齢者の利用が 9 割を占める状況

【ABC】交付者数は増加している反面、利用は減少している。

令和 2 年度 福祉タクシー券 利用実績

(1) 制度概要

- 交付対象者 自動車による交通手段がない次の市民
- ・身体障害者手帳の交付を受け、障害の程度が 1 級又は 2 級の方
 - ・身体障害者手帳の交付を受け、障害の程度が 3 級（視覚障害、平衡機能障害、下肢機能障害、体幹機能障害及び呼吸器機能障害に限る。）の方
 - ・特定疾患受給者証若しくは精神障害者保健福祉手帳若しくは療育手帳の交付を受けた方、又は慢性関節リュウマチの患者
 - ・介護保険の要支援又は要介護認定を受けている方
 - ・65 歳以上の高齢者で市民税非課税世帯の方

○交付枚数

居住地区	交付枚数 ^{※1}	金額 ^{※2}
竜西	12 枚	500 円
竜東 1	24 枚	
竜東 2	36 枚	

※1 年度中途の交付枚数は月割計算

※2 タクシー料金の支払いに使える
1 枚 500 円の金券

(2) 利用実態

【A】交付者数

	H29	H30	R01	R02	前年比
高齢者	919	1,037	1,010	1,090	107.9%
障がい	159	152	156	174	111.5%
計	1,078	1,189	1,166	1,264	108.4%

	【B】交付枚数			【C】利用枚数			【D】利用率		
	R01	R02	前年比	R01	R02	前年比	R01	R02	前年比
高齢者	12,705	14,227	112.0%	7,659	6,865	89.6%	60.3%	48.3%	▲12.0%
障がい	2,045	2,251	110.1%	1,130	1,233	109.1%	55.3%	54.8%	▲0.5%
計	14,750	16,478	111.7%	8,789	8,098	92.1%	59.6%	49.1%	▲10.5%

※【市負担額】 R01 : 4,394,500 円 ⇒ R02 : 3,866,500 円（前年比▲528,000 円）

<まとめ>

- 交付枚数は増加している反面、利用率は減少。
- 市負担額は、割引・福祉タクシー券合わせて、1,052,150 円減少。

(1) 地域公共交通網の整備に関する目標

目標 1-1 こまタク運行エリアによる人口カバー率

使用するデータ	数値目標			達成状況		評価
施策対象人口／全人口	100%			100%		◎
昨年度までのデータ	基準年(H27)	H28	H29	H30	R01	
目標値	(曜日運行)	100%	100%	100%	100%	
実績値	—	100%	100%	100%	100%	
コメント	こまタク運行範囲は全市域を網羅しており目標を達成しているため「◎評価」とする。					

目標 1-2 通学困難世帯の補助対象区域にある高校生世帯への支援実施率

使用するデータ	数値目標			達成状況		評価
支援実施世帯数／対象地区世帯数	80%以上			未実施		×
昨年度までのデータ	基準年(H27)	H28	H29	H30	R01	
目標値	(施策なし)	80%以上	→	→	→	
実績値	—	未実施	未実施	未実施	未実施	
コメント	令和元年度において制度内容を検討。ただし、要綱改正や運用には至っていないため「×評価」とする。					

(2) 地域公共交通の利用実績に関する目標

目標 2-1 こまタクの登録者数

使用するデータ	数値目標			達成状況		評価
登録者数データ	前年比3%増 1,426名			1,676人 前年比89人増(+5.6%) 達成率118%		◎
昨年度までのデータ	基準年(H27)	H28	H29	H30	R01	
目標値	—	1,267	1,305	1,344	1,384	
実績値	1,230	1,275	1,348	1,483	1,587	
達成率	—	101%	103%	110%	115%	
コメント	毎日運行化による利便性の向上ならびに運転免許証自主返納支援事業の効果もあり、登録者は前年比6%増、計画の基準年であるH27年度からは36%の増加となっている。目標を大きくクリアしているため「◎評価」とする。なお、死亡者、転出者は登録名簿から削除している。					

目標 2-2 こまタクの利用者数

使用するデータ	数値目標			達成状況		評価
年間利用者数データ	前年比3%増 5,560名			5,136名 前年比1,153名減(-18.4%) 達成率92%		△
昨年度までのデータ	基準年(H27)	H28	H29	H30	R01	
目標値	—	4,940	5,088	5,241	5,398	
実績値	4,796	5,700	6,468	7,071	6,293	
達成率	—	115%	127%	135%	117%	
コメント	平成30年度まで利用者数が順調に増加していたが、令和元年度は悪天候や年度後半の新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛などで、はじめて減少に転じている。令和2年度はさらにコロナ禍が深刻な状況にもなり、重症化リスクの大きい高齢者の出控えが顕著であったため、さらに減少し、前年比18%の減少となった。達成率もはじめて目標値を割り込むかたちになり、92%にとどまった。令和2年度は特殊な状況下であり、例年通りの評価をすること自体が非常に難しい状況ではあるが、評価基準に沿った暫定的な評価として「△」とする。					

目標 2-3 こまタクの運行率

使用するデータ	数値目標			達成状況	評価	
年間運行実績データ	80%[中間時H30] 85%[計画期間終了時]			84.2% 前年比-6.5%	○	
	昨年度までのデータ	基準年(H27)	H28	H29	H30	R01
	目標値	—	—	80%	⇒	⇒
	実績値	72%	79%	89%	93%	91%
コメント	2-2に示した通り、利用者数が減少しているため、運行率もこれに呼応するかたちで低下し、前年比-6.5%の84.2%となった。計画の基準年であるH27年度における72%よりは大幅に増加しているが、最終年度の目標値である85%はわずかに下回る結果となった。他項目同様、コロナ禍の評価が難しい状況といえるが、概ね目標水準に到達とみなし、暫定的に「○評価」とする。					

目標 2-4 割引タクシー券の利用枚数

使用するデータ	数値目標			達成状況	評価	
年間利用者数データ	前年比3%増 37,779枚			24,691枚 前年比-2,579枚(-9.5%) 達成率65%	△	
	昨年度までのデータ	基準年(H27)	H28	H29	H30	R01
	目標値	—	33,567	34,574	35,611	36,679
	実績値	32,589	28,487	29,545	28,595	27,270
	達成率	—	85%	85%	80%	74%
コメント	割引タクシー券の利用枚数は、前年比で約10%の減となった。2-2に記した通り、令和2年度は令和元年度に続きコロナ禍にあり、交通不便者層全体として移動が少なかったものと捉えることができる。計画期間において、平成30年度までは順調に増加し、目標達成率は92%まで上昇していたが、令和元年度には74%、令和2年度は65%にまで落ち込んでいる。通常の評価が難しい状況ではあるが、他項目同様、評価基準に沿った暫定的な評価として「△」とする。					

目標 2-5 駒ヶ岳ロープウェイ線の利用者数

使用するデータ	数値目標			達成状況	評価	
年間利用者数データ	5%増(H27年比) 224,809人			98,461人 前年比74,145人減(-43%) 達成率44%	×	
	昨年度までのデータ	基準年(H27)	H28	H29	H30	R01
	目標値	—	216,245	218,386	220,527	222,668
	実績値	214,104	210,845	217,528	202,118	172,606
	達成率	—	98%	100%	92%	78%
コメント	コロナ禍で観光産業、公共交通機関ともに厳しい状況となっているが、駒ヶ岳ロープウェイ線はこれらを兼ねた位置づけの路線でもあり、利用実績としては極めて厳しいものとなった。運休を余儀なくされた期間もあり、前年比で43%の減少、基準年とした平成27年と比べても56%の大幅減少となっている。今年度の目標値に対する達成率も44%となった。各評価項目のなかでも最も評価が難しいものであるが、評価基準に則り、暫定的な評価としても「×評価」とする。今後、コロナ禍が収束し、定常的な状況になるのを待って、改めて評価を行うことが求められるが、当初目標として掲げた生活利用の促進も芳しくないことから、いずれにしても評価は厳しいものとなることは避けられないと見込まれる。					

目標 2-6 市民全体でのJR飯田線の利用頻度「月1回以上利用」

使用するデータ	数値目標			達成状況	評価	
計画策定に係る市民アンケート調査	9%			4% H30年度比 -5%	△	
	昨年度までのデータ	基準年(H27)	H28	H29	H30	R01
	目標値	—	—	—	9%	—
	実績値	8%	—	—	9%	—
コメント	計画策定時の平成27年度の調査で8%であり、目標値を9%と定めている。平成30年度の調査で利用率は9%となり、目標値に達したが、令和2年度の調査では4%となり、大きく目標値を割り込むこととなった。上述の通りのコロナ禍で通常の評価が難しい状況ではあるが、他項目同様、評価基準に沿った暫定的な評価として「△」とする。今後、コロナ禍が収束し、定常的な状況になるのを待って、改めて評価を行うことが求められる。					

目標 2-7 市民全体での高速バスの利用頻度「月1回以上利用」

使用するデータ	数値目標		達成状況			評価
計画策定に係る 市民アンケート調査	8%		3% H30年度比 -5%			△
	昨年度までのデータ	基準年(H27)	H28	H29	H30	R01
	目標値	—	—	—	8%	—
	実績値	7%	—	—	10%	—
コメント	計画策定時の平成27年度の調査で7%であり、目標値を8%と定めている。平成30年度の調査で利用率は10%となり、目標値に達したが、令和2年度の調査では3%となり、大きく目標値を割り込むこととなった。高速バスは今回のコロナ禍で公共交通機関のなかでもとくに影響が大きいものの1つとされており、飯田線以上に大きい落ち込みとなっている。他項目同様、評価基準に沿った暫定的な評価として「△」とする。今後、コロナ禍が収束し、定常的な状況になるのを待って、改めて評価を行うことが求められる。					

(3) 観光振興に対する目標

目標 3-1 往復乗車券・セット乗車券の販売実績

使用するデータ	数値目標		達成状況			評価
販売実績データ	年間3,000枚		未実施			×
	昨年度までのデータ	基準年(H27)	H28	H29	H30	R01
	目標値	(施策なし)	3,000枚	⇒	⇒	⇒
	実績値	—	未実施	未実施	未実施	未実施
コメント	バスの往復券と温泉施設入浴のセット券の仕組みづくりに向けた検討、準備を進めているところであるが、販売実施にまだ至っていないため「×評価」とする。					

目標 3-2 観光タクシーの利用者数

使用するデータ	数値目標		達成状況			評価
年間利用者数データ	初年度100組 以降前年比5%増 R2年度目標 121組		未実施			×
	昨年度までのデータ	基準年(H27)	H28	H29	H30	R01
	目標値	(施策なし)	100組	105組	110組	116組
	実績値	—	未実施	未実施	未実施	未実施
コメント	事業の実施主体となる予定の伊南DMOの設置が新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で進められていない状況にあり、観光乗合タクシーの事業も進展していない状況にある。したがって「×評価」とする。					

(4) 地域公共交通の利用促進・意識醸成に関する目標

目標 4-1 公共交通フォーラム(ワークショップ)の開催回数

使用するデータ	数値目標			達成状況	評価	
年間開催回数	毎年1回以上			1回	◎	
	昨年度までのデータ	基準年(H27)	H28	H29	H30	R01
	目標値	—	1回以上	⇒	⇒	⇒
	実績値	1回	1回	1回	1回	未実施
コメント	令和2年度は当初、高齢者のための安全運転フォーラムの開催を計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、会場に集まって開催することは見送り、ケーブルテレビによるテレビ番組の収録、放送とした。3月に収録し、4月から5月にかけて6回の放送を行った。当初のフォーラム形式とは異なるものとなったが、利用啓発活動としては効果の大きい新たな取り組みを実施したものと位置づけ、「◎評価」とする。					

目標 4-2 住民意見交換会開催回数

使用するデータ	数値目標			達成状況	評価	
年間開催回数	毎年5回以上			未実施	×	
	昨年度までのデータ	基準年(H27)	H28	H29	H30	R01
	目標値	—	1回以上	⇒	⇒	⇒
	実績値	3回	24回	1回	1回	未実施
コメント	令和2年度はコロナ禍により、市として集会等の開催を控えたため、住民意見交換会の開催も見送っている。他項目同様、評価基準に沿った暫定的な評価として「×」とする。					

目標 4-3 公共交通に対する住民の満足度 ※R01年度評価値

使用するデータ	数値目標			達成状況	評価	
市民満足度調査 (H29実施)	評点3.2[中間時H30] 評点3.5[計画期間終了時]			評点2.6	△	
	昨年度までのデータ	基準年(H27)	H28	H29	H30	R01
	目標値	—	—	評点3.2	—	—
	実績値	—	—	評点2.66	—	評点2.64
コメント	市民満足度調査の調査項目「交通の便がよく移動しやすい」の満足度は平成29年度が評点2.66、最新の令和元年度で2.64となり、ほぼ同等の値となった。目標とした3.5には届かないため「△評価」とする。同調査項目の平成23年度以降の推移をみても、一貫して減少傾向にあり、施策の利便性は向上が図られているものの、その内容が市民へ届いていない実態がうかがえる。					

目標 4-4 公共交通を住民が支えていく意識

使用するデータ	数値目標			達成状況	評価	
計画策定に係る 市民アンケート調査	「地域住民で負担してサービス 保持」という回答30%以上			31%	○	
	昨年度までのデータ	基準年(H27)	H28	H29	H30	R01
	目標値	—	—	—	30%	—
	実績値	25%	—	—	32%	—
コメント	計画策定時の平成27年度の調査で25%だったことから目標値を30%としている。中間評価の平成29年度の調査で、これが32%となり、目標を上回り、令和2年度の調査でも31%と上回った。目標を上回っているため、「◎評価」とすることもできるが、中間調査時よりも減少傾向にあることや、自家用車利用者は受益者負担(交通不便者自らが運賃を負担)を求める傾向がある一方、交通不便者は運賃負担が許容しづらいため、運行規模の縮小もやむなしと考える傾向があり、住民みなで支えるという基本理念からの乖離もあるため、最終評価としては「○」とする。					

(5) 地域公共交通の維持・永続性担保に関する目標

目標 5-1 公共交通関連の行政負担額

使用するデータ	数値目標		達成状況			評価																		
各年度普通会計決算	3,800万円以内		総額 36,163,336円 ・こまタク …31,224,536円 ・割引タクシー … 3,903,050円 ・スクールタクシー … 1,035,750円			○																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>昨年度までのデータ</th> <th>基準年(H27)</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>3,800万円</td> <td>⇒</td> <td>⇒</td> <td>⇒</td> <td>⇒</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>3,800万円</td> <td>3,145万</td> <td>3,775万</td> <td>3,594万</td> <td>3,474万</td> </tr> </tbody> </table>	昨年度までのデータ	基準年(H27)	H28	H29	H30	R01	目標値	3,800万円	⇒	⇒	⇒	⇒	実績値	3,800万円	3,145万	3,775万	3,594万	3,474万					
昨年度までのデータ	基準年(H27)	H28	H29	H30	R01																			
目標値	3,800万円	⇒	⇒	⇒	⇒																			
実績値	3,800万円	3,145万	3,775万	3,594万	3,474万																			
コメント	3つの施策の合計で3,613万円となり、昨年度比プラス142万円(+4%)となった。上述の通り、こまタク、割引タクシー券ともに利用減となっているにも関わらず、費用は増加傾向にある。この理由は、こまタクの利用実績は少なかったものの、運行便数自体は増加傾向にあり、1便あたりの利用人数が大きく低下したためである。その他、スクールタクシーについては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で年度の前半に学校が休校になったこともあり、昨年度に比べてさらに費用減となっている。目標の3,800万円以内には収まっているものの、増加傾向にあり、効率化等の余地もあるものと思われるため「◎」ではなく「○」評価とする。																							

評価の考え方

◎	数値目標を達成し効果があった
○	数値目標は達成したが改善が求められる
△	数値目標が達成できなかった
×	事業等が実施できなかった

駒ヶ根市地域公共交通計画推進支援業務委託契約(案)

1. 委託業務の名称

令和3年度 駒ヶ根市地域公共交通計画推進支援業務

2. 委託業務の目的

本業務は、令和2年度に策定した駒ヶ根市地域公共交通計画に基づき、計画に位置づけられた各種事業の推進及び評価検証を行うものである。

3. 委託業務の内容

(1) デマンド交通へのシステム導入の検討

現在のこまタクの運営をより効率化最適化するため、システムの導入を検討する。

- ① 先進事例収集等
- ② 運行計画案の検討

(2) 公共交通利用促進啓発事業の実施

地域住民の公共交通の認知率向上のため、各種啓発事業を実施する。

- ① 企画・調整
- ② 開催・運営
- ③ 結果とりまとめ

(3) 地域公共交通会議の運営支援

駒ヶ根市地域公共交通協議会の開催にあたり、事業実施報告や計画推進事業案等の資料を作成する。また、会議に出席し、必要に応じて資料説明や質疑応答などの対応を行う。

(4) 業務工程

本業務は、以下の工程で実施する。

項目	令和3年												令和4年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
(1) デマンド交通システム導入の検討				→											
(2) 公共交通利用促進啓発事業の実施				→											
(3) 地域公共交通会議の運営支援				●			●						●		

4. 見積依頼先とする指名業者の選定

(1) 下記理由により、特定非営利活動法人SCOPと随意契約することとしたい。

理由 当業務の実施にあたり、計画策定に係る業務を受託しており、当市の公共交通に精通し、また、市民アンケートやヒアリング調査など蓄積されたデータについても熟知しているため、効率的かつ効果的な業務遂行が期待できる。

(2) 指名業者概要

業者 特定非営利活動法人SCOP 理事 鷲見真一
 松本市中央2丁目3番17号 知新堂ビル3階A

実績 平成27年度駒ヶ根市地域公共交通網形成計画の策定に係る調査業務(プロポーザルによる)
平成28年度駒ヶ根市地域公共交通の事業推進に係る支援業務(随意契約)
平成29年度駒ヶ根市地域公共交通網形成計画推進事業委託業務(随意契約)
平成30年度駒ヶ根市地域公共交通網形成計画に基づく業務支援委託業務(随意契約)
令和元年度駒ヶ根市地域公共交通網形成計画に基づく業務支援委託業務(随意契約)
令和2年度駒ヶ根市地域公共交通網形成計画策定及び事業支援委託業務(随意契約)

参考 駒ヶ根市物品購入等競争入札参加有資格
営業種目「調査・分析・診断業務」「広告・宣伝」「企画・立案・製作」の登録有

(3) 契約先の決定方法

- ① 指名業者に業務仕様書を提示し、見積書を徴収する。
- ② 事務局により別途設定する予定価格と見積を比較の上、予定価格の範囲内であれば、当該業者との間で、業務委託を締結する。

5. 契約締結後について

速やかに当該業務に着手することとし、協議会へ事業実施状況等を報告する。
契約期間は、契約締結日から令和4年3月20日までとする。

駒ヶ根市生活交通確保維持改善計画

(地域内フィーダー系統確保維持計画を含む)

令和3年6月30日

(名称) 駒ヶ根市地域公共交通協議会

(代表者名) 駒ヶ根市長 伊藤 祐三

生活交通確保維持改善計画の名称

駒ヶ根市地域内フィーダー系統確保維持計画 (令和3年度～令和5年度)

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

(1) 事業背景

【人口・地理】

- 人口 31,701 人、高齢化率 31.7% (令和3年4月1日現在)
- 西は中央アルプス、東は南アルプスに囲まれた高低差のある地域で、西部地域 (市中央部を縦断する天竜川より西側の地域) は天竜川沿岸の複雑な河岸段丘、東部地域 (天竜川より東側の地域) は山あいの急峻な中山間集落となっている。

【都市構造・移動手段】

- 都市の郊外化の進行 (商業施設、医療機関、新興住宅などが郊外化かつ散在) に伴い、移動ニーズが多様化 (目的地が J R 駒ヶ根駅を中心とした市街地から分散) し、自家用車に頼らざるを得ない都市形態となっている。
- 自家用車を持たない交通弱者にとっては、通院や買い物といった生活に必要な移動のために、地域公共交通といった移動手段の確保が必須となっている。
- 少子高齢化の加速により、将来的に車を運転できなくなる人、送迎してくれる家族を持たない人の増加が懸念されることから、社会構造の変化に応じた都市計画の見直しに合わせて、現実的な都市形態や市民ニーズに合った地域公共交通の確保が必要となっている。

【地域公共交通の課題】

- 当市の公共交通網は、隣接する伊那市や飯田市等へ通じる唯一の幹線交通である J R 飯田線や中央自動車道を利用した高速バスを軸に、幹線交通に通じる支線の役割を果たしている「こまちゃんバス」(定時定路線、運行母体：駒ヶ根市地域公共交通協議会)、J R 駒ヶ根駅と駒ヶ岳ロープウェイとの間を往復する民営路線バスから成り立っていた。
- 平成 21 年度に実施した住民意向調査では、市民の 74.5% が「こまちゃんバス」に対して改善を求めており、特に交通弱者の中心である高齢者は、「自宅近くの運行」「増便」「デマンド方式の導入」を求めており、「こまちゃんバス」は市内移動手段としての役割を果たしていない状況であった。
- 「こまちゃんバス」は、都市の郊外化の進展に伴い、幅広い出発地と目的地に対応しきれず、以下の課題を抱えていたため、平成 25 年 5 月をもって運行を終了した。

- ・利用者数の減少（毎年10%づつ減少）
- ・交通空白／不便地域の存在
- ・利用者要望を充足するための路線／ダイヤ拡大や運賃収入の減少による財政負担の増加

（2）事業目的・必要性

- 上記課題を解決し、以下に示す地域公共交通を実現するため、平成25年10月から「こまがねデマンド型乗合タクシー」（通称「こまタク」）の本格運行を開始した。
 - ・交通空白／不便地域を解消する交通
 - ・都市形態や高齢者を中心とした交通弱者のニーズに即した有効的な交通
 - ・無駄がなく効率的な交通
 - ・市民と行政との応分の負担による持続可能な交通
- まちづくりの視点を踏まえた公共交通ネットワークの再構築を図るため、令和2年度に「駒ヶ根市地域公共交通計画」を策定し、より利便性の高い制度に拡充を図ることとしている。
- 高齢者を中心とした交通弱者の通院や買い物等の生活を支える地域公共交通（「こまタク」）を確保・維持していくため、地域公共交通確保維持事業に取り組むことが必要である。

（駒ヶ根市地域公共交通計画 P68 参照）

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

（1）事業目標

「こまタク」運行に係る目標値

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値設定根拠
利用登録者数	1,620人以上	1,660人以上	1,700人以上	前年度比+3%
総利用者数	6,470人以上	6,660人以上	6,850人以上	前年度比+3%
運行率	80%以上	80%以上	80%以上	交通計画設定数値
人口カバー率	100%	100%	100%	—

■収支 前年比0.2ポイント増を継続

■行政負担 3,800万円以内を維持

（駒ヶ根市地域公共交通計画 P79 参照）

（2）事業効果

- 「こまタク」を運行・維持することにより、高齢者を中心とした交通弱者の日常生活（通院や買い物等）に必要な不可欠な移動手段を「有効的^{※1}」かつ「効率的^{※2}」に確保することができるとともに、外出促進・地域活性化に繋がる。

※1 要望の多い「自宅近くの運行」が完全に実現（交通空白／不便地域の完全解消）される。

※2 予約制により「予約がない場合は運行しない」、「予約に応じた経済路線の設定」が可能となる。

3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体
<p>(1) 公共交通運行事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ こまタクの平日毎日運行の継続（駒ヶ根市・事業者） ■ バス部会・タクシー部会での改善策検討（駒ヶ根市・事業者） <p>(2) 交通不便者支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 高齢者関連部署と連携した割引タクシー券・福祉タクシー券の交付（駒ヶ根市） ■ 通学困難世帯への対応検討（駒ヶ根市） <p>(3) 利用促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 公共交通案内パンフレット等の更新・配布（駒ヶ根市） ■ 公共交通利用促進イベントの開催（駒ヶ根市・事業者） ■ 停留所・待合所案内表示等の更新（駒ヶ根市） ■ 運転免許証自主返納支援事業の促進（駒ヶ根市） <p style="text-align: right;">（駒ヶ根市地域公共交通計画 P72～P74 参照）</p>
4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行システムの概要及び運行予定者
地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表1」参照
5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者
駒ヶ根市から運行事業者への補助金額については、運行収入を運行経費から差し引いた差額分を負担することとしている。
6. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称
駒ヶ根市地域公共交通協議会
7. 補助を受けようとする手続きに係る利用状況等の継続的な測定方法 【活性化法定協議会を補助対象事業者とする場合のみ】
予約受付オペレーターに予約運行状況の管理により運行率等の実績を測定する。
8. 別表1の補助対象事業の基準二ただし書に基づき、協議会が「平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りる」と認めたシステムの概要 【地域間幹線システムのみ】
該当なし
9. 別表1の補助対象事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧 【地域間幹線システムのみ】
該当なし
10. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項 【地域間幹線システムのみ】

該当なし
11. 外客来訪促進計画との整合性【外客来訪促進計画が策定されている場合のみ】
該当なし
12. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要【地域内フィーダー系統のみ】
地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表5」参照
13. 車両の取得に係る目的・必要性【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
該当なし
14. 車両の取得に係る定量的な目標・効果【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
該当なし
15. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者、要する費用の負担者【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
該当なし
16. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策）【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
該当なし
17. 貨客混載の導入に係る目的・必要性【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
該当なし
18. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
該当なし
19. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
該当なし
20. 協議会の開催状況と主な議論
<p><平成20年度></p> <p>■平成21年 3月17日（第1回） 協議会規約・諸規定の制定、こまちちゃんバス事業の課題</p> <p><平成21年度></p> <p>■平成21年 9月16日（第1回） 住民意向調査等の結果概要、今後の計画づくりの考え方</p> <p>■平成21年10月26日（第2回） 基本方針及び改善計画の検討、事業者部会設置</p> <p>■平成21年11月25日（第3回） 基本方針及び改善計画の検討</p> <p>■平成22年 2月24日（第4回） 地域公共交通総合連携計画の策定</p>

<平成22年度>

- 平成22年 6月18日 (第1回) 地域公共交通総合連携計画実施計画 (案)
- 平成23年 2月28日 (第2回) バス利用実態調査、住民意向調査等の結果概要

<平成23年度>

- 平成23年 8月23日 (第1回) 実証運行路線の利用状況等
- 平成24年 3月23日 (第2回) 実証運行状況

<平成24年度>

- 平成24年 8月23日 (第1回) こまちゃんバス見直し (案)
- 平成24年11月20日 (第2回) 見直し (案) の修正、地域公共交通総合連携計画の改正
- 平成25年 1月16日 (第3回) 地域公共交通総合連携計画の承認
- 平成25年 3月22日 (第4回) 運行状況、デマンド交通出発式、愛称募集結果

<平成25年度>

- 平成25年 6月18日 (第1回) H26 地域内フィーダー系統確保維持計画の承認
- 平成25年 8月27日 (第2回) 「こまタク」運行方法の見直し案
- 平成26年 3月24日 (第3回) 運行実績、アンケート調査結果

<平成26年度>

- 平成26年 6月19日 (第1回) H26 地域内フィーダー系統確保維持計画の承認
- 平成27年 3月19日 (第2回) 運行実績、アンケート調査結果

<平成27年度>

- 平成27年 6月17日 (第1回) H28 地域内フィーダー系統確保維持計画の承認
- 平成27年 9月11日 (第2回) 地域公共交通網形成計画策定調査業務概要
- 平成27年11月 6日 (第3回) 基礎調査結果、公共交通体系再検討における論点整理
- 平成28年 3月16日 (第4回) 公共交通網形成計画 (素々案)

<平成28年度>

- 平成28年 5月17日 (第1回) 公共交通網形成計画 (素案)
- 平成28年 6月27日 (第2回) H29 地域内フィーダー系統確保維持計画の承認
公共交通網形成計画 (案)
- 平成28年 9月12日 (第3回) 公共交通網形成計画、「こまタク」平日毎日運行
- 平成29年 3月23日 (第4回) 運行実績、アンケート調査結果、運転免許証返納者支援事業

<平成29年度>

- 平成29年 6月19日 (第1回) H30 地域内フィーダー系統確保維持計画の承認
- 平成29年12月 8日 (第2回) 「こまタク」利用促進策
- 平成30年 3月20日 (第3回) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価

<平成30年度>

- 平成30年 6月21日 (第1回) H31 地域内フィーダー系統確保維持計画の承認
- 平成30年12月17日 (第2回) 市民アンケート調査報告、駒ヶ根駅前広場整備の状況
- 平成31年 3月26日 (第3回) 駒ヶ岳ロープウェイ線の試運転結果

<令和元年度>

■令和元年 6月28日（書面協議）	R02 地域内フィーダー系統確保維持計画の承認
■令和元年 6月28日（第1回）	いいちゃんバス市内沿線停留所設置予定地の承認
■令和元年12月20日（書面協議）	地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価
<令和2年度>	
■令和2年 7月 9日（第1回）	R03 地域内フィーダー系統確保維持計画の承認
■令和2年10月27日（第2回）	公共交通アンケート結果、公共交通計画
■令和2年12月22日（第3回）	網形成計画評価、公共交通計画素々案
■令和3年 3月22日（第4回）	次年度事業計画、公共交通計画策定

21. 利用者等の意見の反映状況

■H26 アンケート調査実施（対象者：利用者 調査内容：こまタク乗車感想など）
【期間】H26.12.03～H26.12.22 【回答率】62.1%（回答者138名／対象者222名）
■H27 アンケート調査実施（対象者：市民 調査内容：日常生活の移動、公共交通に対する意識など）
【期間】H27.09.07～H27.09.24 【回答率】43.2%（回答1,082世帯／対象2,500世帯）
■H28 パブリックコメント・説明会実施（地域公共交通網形成計画（案））
【パブコメ期間】H28.05.26～H28.06.17 【説明会】H28.05.30～H28.05.31（出席者5名）
■H28 アンケート調査実施（対象者：利用者 調査内容：こまタク乗車感想など）
【期間】H29.02.20～H29.03.10 【回答率】70.2%（回答者175名／対象者249名）
■H29 アンケート調査実施（対象者：登録者 調査内容：利用状況、各施策評価など）
【期間】H30.02.02～H30.02.16 【回答率（利用者）】66.2%（回答者163名／対象者246名）
【回答率（非利用者）】33.9%（回答者375名／対象者1,106名）
■H30 アンケート調査実施（対象者：市民 調査内容：公共交通利用形態、意識・ニーズなど）
【期間】H30.08.15～H30.09.10 【回答率】46.2%（回答者462名／対象者1,000名）
■R2 アンケート調査実施（対象者：市民 調査内容：公共交通利用形態、意識・ニーズなど）
【期間】R02.07.18～R02.08.05 【回答率】36.0%（回答数1,079／対象数3,000）

22. 協議会メンバーの構成員

関係都道府県	長野県企画振興部交通政策課	長野県上伊那地域振興局	
関係市区町村	駒ヶ根市総務部企画振興課 駒ヶ根市民生部	駒ヶ根市建設部 駒ヶ根市教育委員会	
交通事業者 交通施設管理者等	伊那バス(株) 赤穂タクシー(有)	中央アルプス観光(株) 長野県伊那建設事務所	伊南乗用自動車(有) 駒ヶ根警察署
地方運輸局	北陸信越運輸局長野運輸支局		
その他協議会が必要と認める者	駒ヶ根市区長会 駒ヶ根商工会議所 駒ヶ根観光協会	駒ヶ根市身体障害者福祉協会 駒ヶ根市社会福祉協議会 駒ヶ根市高齢者クラブ連合会	伊那バス労働組合 市民

【本計画に関する担当者・連絡先】

（住 所）長野県駒ヶ根市赤須町20番1号
（所 属）総務部 企画振興課 地域政策係

(氏 名) 林 光洋

(電 話) 0265-83-2111 【内線 245】

(e-mail) kizai@city.komagane.lg.jp

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域内フィーダー系統)

4年度

市区町村	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	再 編 特 例 措 置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7及び別表9)			
			起点	経由地	終点					運行態様の 別	基準口で 該当する 要件	接続する補助対象 地域間幹線系統等 との接続確保策	基準二で該 当する要件 (別表7のみ)
駒ヶ根市	伊南乗用自動車 有限公司	【こまタク】竜東地区～共 通指定目的地(JR駒ヶ根 駅含む)		竜東 地区		往 km 復 km	241日	1,928回		区域運行	②(1)	地域間交通ネットワークで あるJR飯田線と接続(JR 駒ヶ根駅を共通指定目的 地の一つとして運行)	③
	赤穂タクシー 有限公司	【こまタク】竜西地区～共 通指定目的地(JR駒ヶ根 駅含む)		竜西 地区		往 km 復 km	241日	1,928回		区域運行	②(2)	地域間交通ネットワークで あるJR飯田線と接続(JR 駒ヶ根駅を共通指定目的 地の一つとして運行)	③
		(3)				往 km 復 km	日	回					
		(4)				往 km 復 km	日	回					
		(5)				往 km 復 km	日	回					

(注)

1. 区域運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域を記することとし、「系統キロ程」について記載を要しない。
2. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
3. 「再編特例措置」については、地域公共交通再編実施計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載する。
4. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行の別を記載すること。
5. 「接続する補助対象地域間幹線系統等と接続確保策」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークと、どのように接続を確保するかについて記載する。
6. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。

表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

市区町村名	駒ヶ根市
-------	------

(単位:人)

	人口
人口集中地区以外	26,167
交通不便地域	2,681

交通不便地域の内訳

人口	対象地区	根拠法
2,560	駒ヶ根市中沢区	山村振興法
121	駒ヶ根市南割区第2-1、3-1 駒ヶ根市福岡区第5	局長指定

地域公共交通網形成計画、地域公共交通再編実施計画の策定年月日及び算定式適用開始年度

計画名	策定年月日	算定式適用開始年度
駒ヶ根市地域公共交通網形成計画	平成28年7月1日	H29

(※参考)

対象人口	算定式	国庫補助上限額

(※) 省略可。

(1) 記載要領

1. 人口は最新の国勢調査結果を基に記載すること。ただし、地方運輸局長等が指定する交通不便地域の場合は、申請する年度の前年度の3月末現在の住民基本台帳を基に記載すること。
※なお、実施要領等で別に定める場合は、それによること。
2. 「人口集中地区以外」の欄は、国勢調査結果により設定された人口集中地区に該当しない地区の人口を記載すること。
3. 「交通不便地域」の欄は、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱(以下、「交付要綱」という。)の別表7(口②(1))に記載のある過疎地域の人口及び交付要綱別表7(口②(2)(実施要領の2.(1)⑭))に基づき地方運輸局長等が指定する交通不便地域の人口の合計(重複する場合を除く)を記載すること。
4. 「対象地区」の欄には、当該市町村の一部が上記3.に掲げる法律(根拠法)に基づき地域指定されている場合に、根拠法ごとに当該区域の旧市町村名等を記載すること。また、地方運輸局長等が指定する交通不便地域が存在する場合には、該当する区域名を記載すること。
5. 「根拠法」の欄は、交通不便地域を地方運輸局長等が指定した場合は、「局長指定」と記載すること。

(2) 添付書類

1. 人口集中地区以外の地区及び交通不便地域の区分が分かる地図
(ただし、全域が交通不便地域となる場合には省略可)

いいちゃんバス病院線 乗降者数

資料 1 1

運行日：令和元年11月～ 3年 3月

(人)

	停留所	1便		2便		3便		4便		計		計
		乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	
往 路	飯島駅	601	2	381	0	194	0	240	0	1,416	2	1,418
	商工会	4	0	41	0	5	0	8	0	58	0	58
	生協ケアセンターいいじま	61	13	54	36	20	1	1	8	136	58	194
	下平石材店 前	2	5	0	0	4	0	1	0	7	5	12
	追引	23	30	30	13	12	2	1	0	66	45	111
	道の駅田切の里	1	0	2	6	2	3	1	2	6	11	17
	田切体育館（要予約）	3	0	0	1	0	0	0	0	3	1	4
	田切体育館北（要予約）	25	0	4	0	0	0	0	0	29	0	29
	田切信号	1	0	1	1	0	0	0	1	2	2	4
	福岡辻沢	176	4	11	26	3	14	5	7	195	51	246
	福岡公道館東	16	2	7	2	4	2	0	1	27	7	34
	海外協力隊入口信号東	5	0	18	5	16	5	8	3	47	13	60
	昭和伊南総合病院	0	862	0	459	0	233	0	243	0	1,797	1,797
	計	918	918	549	549	260	260	265	265	1,992	1,992	
復 路	昭和伊南総合病院	457	0	570	0	250	0	371	0	1,648	0	1,648
	海外協力隊入口信号東	5	8	0	5	2	35	1	16	8	64	72
	福岡公道館東	0	4	43	13	1	13	0	3	44	33	77
	福岡辻沢	2	29	24	22	13	7	11	52	50	110	160
	田切信号	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3	3
	田切体育館北（要予約）	4	3	0	52	1	1	1	0	6	56	62
	田切体育館（要予約）	0	1	0	7	1	0	0	0	1	8	9
	道の駅田切の里	0	3	5	6	5	4	2	2	12	15	27
	追引	2	4	1	13	1	9	15	5	19	31	50
	下平石材店 前	0	1	0	3	0	0	0	1	0	5	5
	生協ケアセンターいいじま	11	93	2	84	0	45	4	87	17	309	326
	商工会	0	7	0	29	1	16	0	30	1	82	83
	飯島駅	0	328	0	409	0	144	0	209	0	1,090	1,090
	計	481	481	645	645	275	275	405	405	1,806	1,806	
往路・復路計		1,399	1,399	1,194	1,194	535	535	670	670	3,798	3,798	

市内3バス停の状況

	乗車数計	降車数計	乗降者数計
病院行	269	71	340
飯島駅行	102	207	309
計	371	278	649

乗れる! 学べる!

公共交通をもっと身近に感じよう

のりものの体験

EVENT

体験無料

7月3日(土)・4日(日)

時間 10:00～16:00
(荒天時中止)

ベルシャイン駒ヶ根店
(正面入り口前)



パトカーも
ゲスト出演!



街中を走るさまざまなクルマが大集合!!
運転席に座れるイベントなど盛りだくさん!

お楽しみ抽選会 何が当たるかな!

- 抽選券1枚につき1回抽選
- イベント参加で抽選券1枚プレゼント
- ベルシャイン駒ヶ根店内でのお買い物レシート合計1,000円以上で1回抽選できます

景品

- ニシザワ商品券 1,000円～3,000円分
- ロープウェイキーホルダー など

空クジなし

ゲスト出演 **パトカー** 車内での撮影もOK!
7月3日(土) 10:00～14:00のみ
緊急時は出動する可能性があります



遊びに来るよ!

路線バス目覚まし時計
ロープウェイキーホルダーなど
オリジナルグッズ 販売

免許返納ってどうしたらいいの?
返納後に使えるサービスは?
免許返納相談コーナー

展示

終日開催 10:00～16:00

本物を近くでゆっくり見れる♪
のりものの展示
中央アルプス観光の路線バス・伊那バス的高速バス
こまタク・こまかっぼ号・ゲストとしてパトカーなど!

EVENT 1

終日開催 10:00～16:00

ひとりで乗れるかな!?
路線バス 乗り方教室
路線バスに乗ったことのないお子さん、慣れていないお子さんに、本物のバスを使って乗り方をレクチャー!

EVENT 2

終日開催 10:00～16:00

路線バス 運転手さん体験
路線バスの運転席に座れちゃおう!
運転手さんになったつもりで体験しよう。

EVENT 3

12:00～
12:15～
14:30～
14:45～

**ロープウェイ
バーチャルツアー**
プロジェクター・スクリーンを活用した乗車体験!
本物のガイドさんが案内するよ!

EVENT 4

11:30～
11:45～
14:00～
14:15～

バス車内換気体験
大型バスは何分で換気できるかな?

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、イベント会場内ではマスクの着用及びアルコールでの手指消毒にご協力ください。
緊急事態宣言発出時はイベントを中止致します。

お問い合わせ **中央アルプス観光株式会社**

【本社】〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂 759-489

TEL.0265-83-3107(代)

中央アルプス観光

WEB サイトはこちら▶



主催・共催

伊那バス株式会社
中央アルプス観光株式会社
駒ヶ根市地域公共交通協議会

後援・協力

駒ヶ根ソースかつ井会・株式会社ニシザワ
赤穂タクシー有限公司・伊南乗用自動車有限公司
駒ヶ根警察署